

Title	フランスにおける治安機関の組織・権限法令及びサイバーセキュリティ、移民対策、テロ対策等の治安政策に関する総合的研究
Sub Title	Researches about the laws and regulations of public safety and order in France. Researches about the security policy such as cybersecurity, immigration, counterterrorism, etc..
Author	岡部, 正勝(Okabe, Masakatsu)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	フランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を、論文集、警察政策学会誌等において公表した。 海外調査研究においては、2017年3月～4月に、フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うとともに、同研究所所長ほかとフランスの治安制度、治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、2018年2月には、フランス・アルビ市所在のUMD(仏全土では10か所ある処遇困難な精神障害者の治療施設。触法精神障害者対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、フランスにおける触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと意見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全般に関しては、2017年8月、慶應義塾大学SFC研究所に、新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、2017年11月23日、慶應義塾大学SFC主催のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、「社会安全政策・警察学の未来」と題し、同ラボ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、警察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和通教授、京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、研究者等数十名の参加を得た。 I published some articles about the public safety policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safety policies in french language. I also changed knowledges and opinions about the security policies in France. I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients who committed crimes. I discussed the director about the problems of the care and treatment of such patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017, I organized the session "Future of the Public Safety Policy and Police Studies" at the occasion of SFC Open Research Forum (ORF).
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170206

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	総合政策学部	職名	教授(有期)	補助額	300 (A) 千円
	氏名	岡部 正勝	氏名 (英語)	Masakatsu OKABE		
研究課題 (日本語)						
フランスにおける治安機関の組織・権限法令及びサイバーセキュリティ、移民対策、テロ対策等の治安政策に関する総合的研究						
研究課題 (英訳)						
Researches about the laws and regulations of public safety and order in France. Researches about the security policy such as cybersecurity, immigration, counterterrorism, etc..						
1. 研究成果実績の概要						
フランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を、論文集、警察政策学会誌等において公表した。 海外調査研究においては、2017 年 3 月～4 月に、フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うとともに、同研究所所長ほかフランスの治安制度、治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、2018 年 2 月には、フランス・アルビ市所在の UMD(仏全土では 10 か所ある処遇困難な精神障害者の治療施設。触法精神障害者対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、フランスにおける触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと意見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全般に関しては、2017 年 8 月、慶應義塾大学 SFC 研究所に、新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、2017 年 11 月 23 日、慶應義塾大学 SFC 主催のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、「社会安全政策・警察学の未来」と題し、同ラボ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、警察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和通教授、京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、研究者等数十名の参加を得た。						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
I published some articles about the public safety policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safety policies in french language. I also changed knowledges and opinions about the security policies in France. I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients who committed crimes. I discussed the director about the problems of the care and treatment of such patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017, I organized the session "Future of the Public Safety Policy and Police Studies" at the occasion of SFC Open Research Forum(ORF).						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
岡部正勝	サイバー空間の安全	『社会安全政策論』278－297 頁、警察政策学会編、立花書房	2018 年 4 月			
岡部正勝	テロ対策	『社会安全政策論』298－317 頁、警察政策学会編、立花書房	2018 年 4 月			
岡部正勝	インターネットによる「過激化」対策－フランスのテロ対策におけるインターネット関連規制等について－	『変容するテロリズムと法 各国における〈自由と安全〉法制の動向』127－140 頁、大沢秀介・新井誠・横大道聡編著、弘文堂	2017 年 10 月			